



「解体工事」



「改修工事」



「断り工事」



「アスベスト除去工事」

同社の仕事は、解体工事、断（は）つり工事、アスベスト工事が3本柱。東京都、千葉県を中心に関東全域から工事依頼が絶えない。

「解体工事は、主な取引先より委託を受け、鉄筋コンクリート造解体、鉄筋・鉄骨コンクリート造解体、木造解体、構造物などを除いた内装のみの内装解体、アスベストが使用された建物の解体に伴うアスベスト工事、アセチレンなどのガスを用いて鋼板を切断するガス溶断等を行っています。看板撤去などの特殊解体工事にも対応しています。断り工事は、解体工事現場や改修工事現場などでコンクリート製品を削ったり、壊したり、穴をあけたりといった作業全般を行います。アスベスト除去工事は、アスベストの検体採取、分析から各諸官庁への書類申請、そして除去工事から産業廃棄物の処理搬出まで一貫して行っています。若いながらも豊富な経験を積んでいるスペシャリストが各事業部のトップや現場の最前線にいたことが当社の強みです」

佐々木さんの前職は、飲食店やホテルでの調理師。23歳の時に新たな挑戦として解体業界に転じ、技術とノウハウを得て30歳で独立、起業。仕事の品質と顧客満足度を高めながら前進し続けている。

（ライター／斎藤 悠）



毎年恒例の東京ベイヒルトンにての忘年会。



代表取締役会長

佐々木雄太 さん

調理師の専門学校を卒業後、18歳から約5年間、飲食店やホテルで調理師として働く。23歳の時に解体業界に転じ、解体工事会社数社で経験を重ねた後、解体業の新たな姿を目指して30歳で独立し、2015年「株式会社DSK」を設立。

仕事に誇り持つ解体のプロ集団を形成 働きやすい環境整備など経営努力結実

**徹底した社員教育奏功
マイナスイメージ払拭**

10人でスタートした会社を創業から8年で社員約60人、協力会社も含めると約200人という規模まで成長させた経営者がいる。総合解体業「株式会社DSK」代表取締役会長の佐々木雄太さん。人材育成と社員の人格形成に力を入れ、福利厚生や作業着、道具に至るまで社員が仕事に誇りを持てる環境作りに取り組んできた経営努力の成果で、建築施工管理技士や建設機械施工管理技士の国家資格、解体作業、特定化学物質作業、石綿作業、足場組立作業などの作業主任者を含め多数の資格保有者を擁するプロ集団として成長軌道を歩み続けている。

「解体業は、スクラップアンドビルドという社会の循環の中でなくてはならない大切な職業でありながら、危険、荒っぽいといった負のイメージが強くて、これを払拭したいという思いを強く持ち続けてきました。労働環境の改善に加え、社員一人ひとりが会社の顔であり、営業マンであるという自覚を持つてもらうため、社会人としてのモラルやマナー、言葉使い、礼儀に関して厳しく指導してきた結果、社員が解体という職業に誇りを持って定着し、採用拡大にもつながったのです」

株式会社 DSK

ディーエスケー

☎ 047-318-9988

✉ kaitaidsk@hotmail.com

📍 千葉県市川市高谷2-21-40

https://www.kaitaidsk.com/



こちらからも
検索できます。

